

## ●漁況情報

- 長井町漁協所属漁業者のトラフグ延縄漁では、3月中も漁が良い日は1日隻50尾以上の安定した漁があり、価格も前年と比べて良かったそうです。3月25日には、トラフグ延縄漁業者グループ「福会」会長 長助丸さんが、「相模のとらふぐ」ブランドについてテレビ朝日「ごはんジャパン」の取材を受け、トラフグ延縄漁が始まった経緯や当センターのトラフグ種苗放流の取り組みについても紹介されるそうです。4月23日（土）18:30～テレビ朝日でOA予定だそうです。

テレビ朝日「ごはんジャパン」番組ホームページ <https://www.tv-asahi.co.jp/gohan-japan/>

## ●浜の話題

- 3月2日、三和漁協城ヶ島支所ではアワビ資源の回復を図るため城ヶ島周辺の磯場にアワビ種苗(殻長約4~5cm)を20,700個放流しました。また、3月17日には放流したアワビの生残率や成長を確認するため、水産技術センターの協力を得て標識したマダカアワビ700個をアワビ禁漁区に放流しました。これらの取り組みによりアワビの不漁原因が解明され、少しでも漁獲が増えることを期待したいと思います。



放流した標識アワビ

- 3月4日、横須賀市東部漁協 走水支所において地元の走水小学校の3年生と4年生が、ワカメの収穫を体験しました。収穫したワカメは、昨年12月に3年生が種挿し、同支所のりゆき丸さんが管理して育てたものです。例年、種挿しから収穫までのワカメに関する一連の学習は、3年生が行っているのですが、昨年はコロナの影響で収穫体験が実施できなかったために、今年は4年生も一緒に参加しました。子供たちは、自分たちの身長よりも大きく育ったワカメに驚くとともに、漁業者からワカメの収穫方法を教えてもらって、熱心に収穫していました。



走水小学校の生徒たちによるワカメ収穫体験の様子

- 3月11日、岩漁協事務所において、新型コロナウイルス感染拡大により延期されていた令和3年度神奈川県漁業士認定証書授与式を実施しました。新しく認定された青年漁業士は、同漁協所属の皆木さんと鈴木さんです。皆木さんは漁協の自営定置の漁労作業において中心的存在として活躍されているほか、裸潜り漁業にも長らく従事しています。鈴木さんは同定置にて若手漁業者の中心的存在であり、一本釣り漁業等にも取り組んでいきたいとのこと。また、お二人ともイワガキ養殖事業にも熱心に取り組んでいます。今後のお二人のご活躍を期待しております。



漁業士認定証書の授与の様子

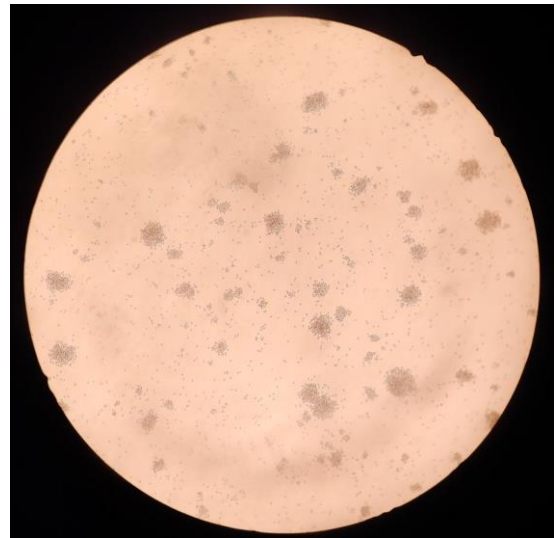


漁業士認定された皆木さんと鈴木さん

- 3月中旬から下旬にかけて、各浜で来年度のワカメ養殖用の種付け（種苗生産）が行われております。採苗水槽に透明のフィルムを張る等の工夫をして、ワカメ遊走子の活性が高まる17℃以上まで水温を上昇させると、顕微鏡下でメカブから放出された遊走子が活発に動く様子が確認できました。種付け後2週間は種苗育成小屋内を明るく保ち、初期成長を促します。



ワカメ種付けの様子



顕微鏡（40倍）画像 無数に粒状に見える遊走子